

提出日 平成 24 年 04 月 30 日

クルーズサマリー

1. 航海番号／レグ名／使用船舶 : KY12-01Leg2 かいよう
2. 研究課題名 : 地震・津波観測監視システム(DONET)に関する調査ならびに観測機能向上
提案者／所属機関／課題受付番号 : 金田義行／独立行政法人海洋研究開発機構／JS11-03
3. 首席研究者／所属機関 : 松本浩幸／独立行政法人海洋研究開発機構
4. 乗船研究者 : 日本海洋事業株式会社 小寺透
5. 調査海域 : 紀伊水道沖
6. 実施期間 : 2012 年 01 月 19 日(木) ~ 2012 年 01 月 28 日(土)

調査航海概要

1. 目的

本航海の目的は、地震津波観測監視システム(DONET2)の基幹ケーブルルートならびにノード～観測点までの展張ケーブルルート的设计に資するマルチビーム地形データの取得である。

2. 実施内容

「かいよう」に搭載しているマルチビーム音響測深機(SEABEAM2100)を用いて、DONET2 海域のうち、基幹ケーブルルートならびにノードを含む観測点周辺の広域海底地形調査を行う。

3. 調査結果の概要

本航海では、昼夜を問わずマルチビーム地形調査を実施した。10 日間の調査日数のうち、終日避泊が 3 日間、夜間避泊が 2 日間あり、海況には恵まれなかった。結果として、ノード 2A、2B、2G 周辺の詳細地形データを取得することができた(図 1 を参照)。基幹ケーブルルートについては、残念ながら本航海では着手できなかった。しかしながらノード 2G には 2 種類の観測点配置が検討されており、当該観測点配置の最終化を議論するためのデータを取得することができたのは幸いであった。今回計画して実施できなかった海域のマルチビーム地形調査は、平成 24 年度夏に予定されている「よこすか」航海で実施する予定となっている。

Bathymetric map for Nankai Trough off Kii-Suido, DONET2

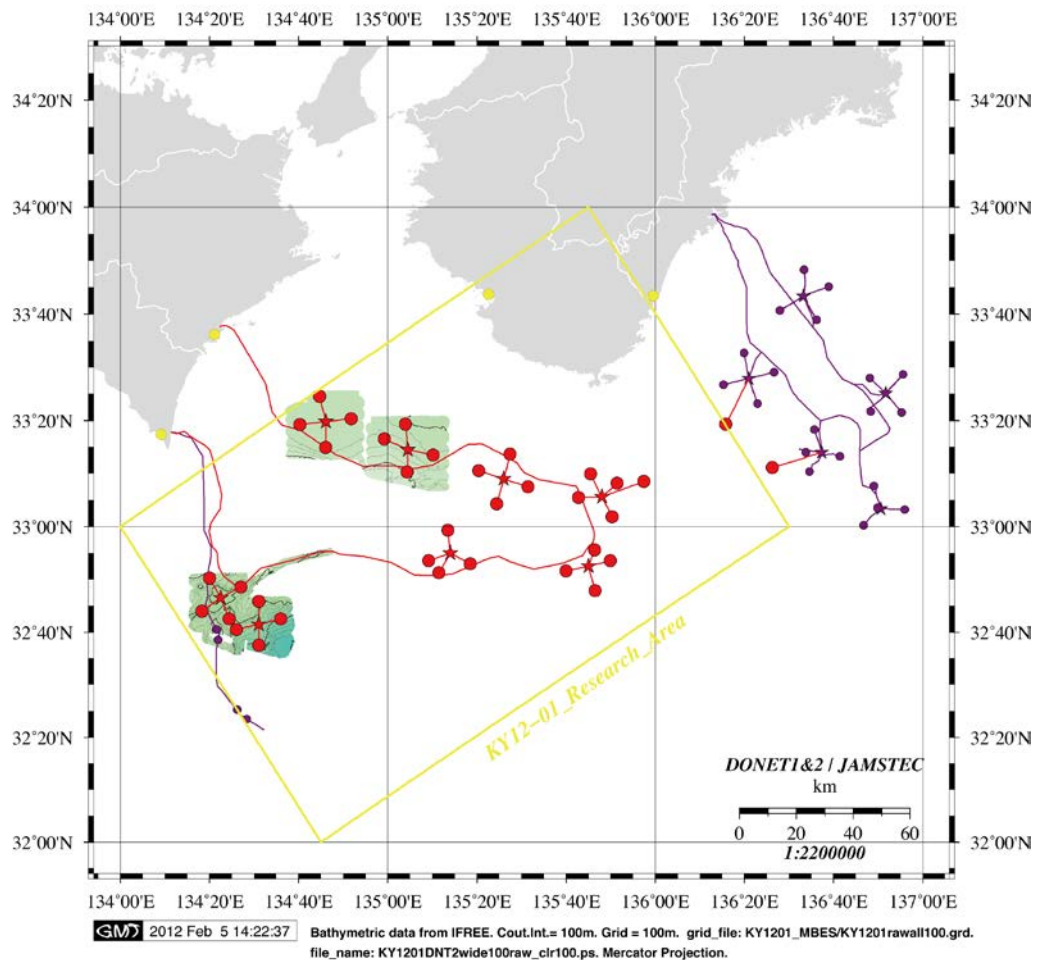


図1 本航海で取得したマルチビーム地形データによる海底地形図